

施策マネジメントシート(28年度目標達成度評価)

シート1 作成日 平成 29 年 6 月 30 日
更新日 平成 29 年 7 月 24 日

施策体系

政策名(基本方針)	3	教育の健康	施策名	13	歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成
-----------	---	-------	-----	----	---------------------

施策統括部	教育部	関係課	商工振興課
施策主管課	生涯学習課		

1 施策の目的と指標

対象	市民や市の出身者	意図	合志市の歴史、伝統文化に対する愛着や誇りを持つ
----	----------	----	-------------------------

成果指標

	名称	単位
A	合志市の歴史、伝統文化に触れている市民の割合〔市民アンケート〕	%
B	合志市を郷土として愛着を感じていると答えた市民の割合〔市民アンケート〕	%
C	合志市を郷土として誇りを持っていると答えた市民の割合〔市民アンケート〕	%
D		

2 指標等の推移

成果指標	26年度現状値	数値区分	28年度	29年度	30年度	31年度	評価	背景として考えられること	
A	%	48.7	成り行き値	48.7	48.7	48.7	48.7	×	平成28年度は熊本地震の影響が大きく、市民にとっての関心は日常生活を取り戻すことの意識を優先されていたと思われる。また、合志歴史資料館もほぼ1年間休館となり、毎年開催していた特別展をはじめ、市民へのアピールができなかったことなどが減少した要因と考えられる。
			目標値	49.3	49.9	50.5	51.1		
			実績値	41.1					
B	%	72.0	成り行き値	72.0	72.0	72.0	72.0	○	これまでの活動の成果とカタルパの樹の漫画本作成などが考えられます。
			目標値	72.5	73.0	73.5	74.0		
			実績値	74.6					
C	%	61.1	成り行き値	61.1	61.1	61.1	61.1	○	これまでの活動の成果とカタルパの樹の漫画本作成などが考えられます。
			目標値	61.4	61.7	62.0	62.3		
			実績値	62.3					
D			成り行き値						
			目標値						
			実績値						

※【評価】 ○：目標達成 △：目標をほぼ達成(-5%) ×：目標を未達成

事務事業数・コスト		28年度	29年度	30年度	31年度	
事務事業数		本数	7			
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0		
		都道府県支出金	千円	0		
		地方債	千円	0		
		その他	千円	22		
		繰入金	千円	0		
		一般財源	千円	9,494		
	事業費計(A)		千円	9,516		
(A)のうち指定経費		千円	0			
(A)のうち時間外、特殊勤務手当		千円	0			
人件費	延べ業務時間	時間	718			
	人件費計(B)	千円	2,683			
トータルコスト(A)+(B)		千円	12,199			

3 施策の特性・状況変化・住民意見等

【1】施策の方針

・地域で伝承されてきた伝統的郷土芸能や歴史的な祭りの保存活動を行う団体の継承者の育成を支援します。

【2】協働によるまちづくりの具体策(市民と行政の役割分担)

ア)住民(事業所、地域、団体)の役割

・市民は、昔から伝えられてきた行事などに参加することで、歴史、伝統文化を継承するとともに、新しい文化を創造し伝えます。
 ・地域は、地域の歴史や伝統文化を守り、継承することによって住民間の連帯感を高めます。
 ・企業や事業所は、地域行事に積極的に参加し協力を行います。

イ)行政の役割(市がやるべきこと)

・市は、文化財の保護、保存と施設の管理を適切に行います。
 ・市は、文化財や施設について、市民への啓発に努め、活用促進を図ります。
 ・市は、取り組んでいる地域の実情に応じた支援を行います。
 ・市は、学校教育と連携した子どもたちへの啓発を行います。

【3】成果指標の目標設定とその根拠(上段)・成果指標の測定企画(下段)

A	合志市の歴史、伝統文化に触れている市民の割合の成り行き値は、全体人口の増加率に比べ、極端な増減はないため平成26年度の実績値で推移すると設定しました。目標値は、資料館での特別展やまちめぐりふるさと探訪バスなどの充実に努め、文化財や伝統芸能の周知を図り、伝統文化である祭り等の支援を行うことと過去の実績値(伸び率)を踏まえて平成31年度は51.1%に設定しました。
B	合志市を郷土として愛着を感じていると答えた市民の割合の成り行き値は、全体人口の増加率に比べ、極端な増減はないため平成26年度の実績値で推移すると設定しました。目標値は、現状でも72.0%と水準は高いと考えますが、今後も指定文化財の掘り起こしや啓発に努めていくことで、郷土の再発見をしてもらう機会が増えることと、過去の実績値(伸び率)を踏まえて平成31年度は74.0%に設定しました。
C	合志市を郷土として誇りを持っていると答えた市民の割合の成り行き値は、全体人口の増加率に比べ、極端な増減はないため平成26年度の実績値で推移すると設定しました。目標値は、現状では61.1%の人が誇りを感じており、子どもたちが地域や学校で、歴史や伝統文化に触れ合う機会を設け、理解を深めてもらうことで、子どもたちを含め地域でも誇りを持ってもらえることと、過去の、実績値(伸び率)を踏まえて平成31年度は62.3%に設定しました。
D	

【4】施策の現状と今後の状況変化

- ・歴史資料館と郷土資料館の統合に向け、両館の収蔵物調査を進め、収蔵、展示方法、出土品作業等の機能やあり方の検討が必要で
- す。
- ・文化財の標柱や案内板等が、老朽化による腐食や損傷が進んでおり、分かりづらくなってきています。
- ・伝統的郷土芸能や歴史的祭りの保存・継承活動を行う団体の会員の高齢化により、存続も難しくなっています。

【5】この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか？

- ・文化施設について、利用している近隣市町や市民からは評価が高いが、利用しない市民からは税金の無駄遣いだという声も聞かれる。
- ・地域で開催している祭りについて、市の主催にして欲しいという要望がある。
(平成28年度(平成27年度振り返り)の施策評価における議会意見)
- ・史跡巡りのコースを複数設定し、ウォークラリー等のイベントの実施を図ること。
- ・歴史と伝統文化について、小中学生には体験として学習する機会をつくり、成人に対しては、探訪バスやイベントによる機会の提供を図ること。
(平成28年度(平成27年度振り返り)の施策評価における総合政策審議会意見)
- ・文化財、資料館の整備充実を図ること。
- ・観光と一体で取り組むなど、文化財の周知方法を検討すること。
- ・伝統郷土芸能等の後継者の育成を行うこと。

4 施策の評価

【1】 施策の振り返り(施策の方針、経営方針の達成度等)

※ 経営方針からの振り返り、貢献度評価の上位の事務事業を記載

(1)平成28年度の経営方針からの振り返りは、以下のとおり。

①「市の歴史・伝統・文化財等を活用した市民交流、郷土愛の醸成に資するような取り組みを進める」については、まちなみ探訪バスや子ども歴史科学体験教室を実施した。

②「歴史・伝統・文化財施設の適切な保存維持管理を行うと共に、市民への周知啓発の工夫改善に努める」については、熊本地震による大きな被害はなかったが、この教訓を活かし文化財の適切かつ安全な保存維持管理を行なう。また、引き続き計画的な周知啓発に努める。

③「歴史資料館、郷土資料館の効果的で効率的な運用方法について、検討する」については、郷土資料館を合志マンガミュージアムとしてリニューアルを行ない、H29年度オープンに向けて準備を行なっている。新しく漫画文化として西合志図書館との相乗効果を期待する。

④「伝統文化保存団体の継承者支援に努める」については、竹迫観音まつり、須屋太鼓など各種歴史伝統芸能団体の後継者育成を含めて引き続き支援を実施した。

(2) 事務事業貢献度評価の結果では、平成28年度施策の成果を向上させるために貢献した事務事業として、竹迫初市振興会活動支援事業があげられた。

【2】施策の課題

- ・地域の文化財等を案内するボランティアガイドを育成します。
- ・伝統文化や郷土芸能などを継承するための後継者を育成します。
- ・新しい住民への地域や文化財等を紹介する啓発活動を行います。

5 施策の28年度結果に対する審査結果

① 政策推進本部での指摘事項(施策目標達成度評価結果報告を受けて・・・平成29年7月24日)

- ・合志市歴史資料館として内容の充実を図る必要がある。
- ・遺跡、史跡など市民が関心を持てるよう環境整備を図る必要がある。
- ・歴史と伝統文化について、市民や子どもたちに関心を持たせるような取り組みが必要。
- ・伝統文化の継承・育成を支援していく必要がある。
- ・マンガミュージアムについては漫画文化の発信拠点として内容充実を図る必要がある。

② 総合政策審議会での指摘事項(平成29年8月9日、16日、24日まとめ)

- ・観光と一体化して取り組むなど文化財の周知方法を検討すること
- ・文化財や伝統文化の後継者の育成を行うこと

③ 議会の行政評価における指摘事項(平成29年9月22日)

- ・歴史・伝統・文化それぞれについて具体的に何を指すのか、その保存・活用などの現実的な対応策を示すこと
- ・歴史資料館の充実に努めること

6 次年度に向けた取り組み方針

● 政策推進本部 平成30年度合志市経営方針(平成29年9月27日)

- ①市の歴史・伝統・文化財等に関心を持たれるような環境整備に努め、郷土愛の醸成に資するような取り組みを引き続き進める。
- ②歴史・伝統・文化財施設の適切な保存・維持管理を適正に行うとともに、市民及び市外への周知啓発の工夫と改善に努める。
- ③小中学生の学習の場や一般成人向けのふるさと探訪バス等の充実を図り、親しめる機会の提供に努める。
- ④伝統文化の継承者と後継者の育成を行い、保存団体等の活動を引き続き支援していく。
- ⑤歴史資料館やマンガミュージアムの内容を充実させるとともに、史跡をめぐるコースの設定等を通じた総合的な整備の検討を進める。